

# 津留地区まちづくり協議会・津留地区公民館

春爛漫、桜満開の裏川に101匹の鯉が泳ぎました。



裏川鯉のぼり作戦



- ◆令和三年九月二十七日に開催された「津留地区ふれあい市長室」に於いて、津留地区まちづくり協議会と津留地区公民館で企画した“裏川鯉のぼり作戦”を提案。市長の賛同を受け、大分市公園緑地課と連携し「大分市ひととみどりふれあいいち」と同時開催することで「鯉が泳ぐまちづくり事業」がスタート。
- ◆同年十月二十日、鯉のぼりの先進地である枝立温泉観光協会を訪問し、取り組みの現状や鯉のぼり掲揚のノウハウを研修。
- ◆十一月一日から翌年の令和一年一月三十一日の間、鯉のぼりの収集に取り組み、地域の回覧や大分合同新聞の募集記事・市報による告知の効あって、県下津々浦々の方々から思い出の籠もつた鯉のぼりが寄せられ、目標の五十匹を上回る三百一十三匹に達し、事業に弾みをつけすることが出来ました。
- ◆令和四年三月十九日から五月五日にかけて、大分市平和市民公園に流れる裏川の満開桜と春の風の中を色とりどりの鯉のぼりが空高く泳ぎ、花見に訪れた多くの人々に元気を与えることが出来ました。



●掲揚期間 令和4年3月19日～5月5日 ●掲揚場所 大分市平和市民公園 津留第二乃橋～津留第三乃橋の間

きずな

糸

# 城東原川 第25号

城東原川地区まちづくり運動推進協議会

城東原川地区まちづくり事務局  
(大分東部公民館) 556-8818



地域まちづくり活性化事業 城東原川地区

## まちづくりフォーラム 2022



演題 迫りくる災害から

開催概要

1日時…2023(令和5)年

2月4日(土)

開場…13時30分

講演…14時～15時

場所

大分東部公民館 大会議室

(大分市日吉町3-1)

その他

入場無料

※駐車場の台数には限りがございますので、乗り合わせて来られる等皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。



大分大学減災・復興デザイン  
教育研究センター長

教授 鶴成 悅久

鹿児島大学大学院連合農学研究科修了博士  
(学術)。鹿児島では土木教員として測量・土木技術者を養成する傍ら、鹿児島大学で東日本大震災の調査や復興支援等の災害研究に従事。2017年4月に大分大学に着任し2018年10月より現職。災害の備えから発災時の対応、復旧や復興、そして環境の変化など減災科学を中心とした教育研究を行う。2018年4月に中津市耶馬渓町金吉で発生した山地崩壊では中津市からの派遣要請を受け、12日間にわたって現地対策本部で捜索活動の助言にあたる。杵築市山香町在住。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、  
定員75名(要事前申込・先着順)といたします。

参加をご希望される方は、1月18日(水)～1月27日(金)  
の期間に大分東部公民館(556-8818)へ事前申込をお願いします。  
○当日参加される方は、咳エチケットの実施(マスクの着用等)および受付での検温や健康状態の確認など感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。  
※今後の状況によって、中止になることもありますので、ご了承ください。

# 東大分校区公民館

## 災害に対する取り組み～災害に強いまちづくりを目指して～

東大分校区では災害に対するさまざまな取組を行い、「安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指しています。

### ◎「防災ウォーキング事業」

「東大分校区防災士会」(各自治区の防災士で構成)を組織するとともにこれまで実施してきたウォーキング事業に防災の要素を加えた「防災ウォーキング事業」をスタートさせました。(それ以前は、各自治区にて個別に、防災講話、消防訓練、防災食の試食等を実施していました。)

机上だけでなく、実体験を通じて防災意識の啓発を図るために、地区ごとに集合場所を設け、避難所の一つである城東中学校まで実際に歩くことで防災意識の向上を図っています。また、防災アドバイザーによる防災講話、段ボールトイレの組み立て、防災食の試食、防災無線の使用講習会等を実施しています。

### ◎「防災無線」の整備

校区に2つある消防団同士の連絡体制の充実、連携強化を図るとともに、災害時の混乱の中で校区住民の避難先や安否確認を速やかに行うために、防災無線を各自治区に導入し、地域全般の通信網を構築しました。また実際の災害に備えて通話訓練も実施しています。

◎これから取り組みとして、災害時の安否確認をさらに迅速に行うため「災害時住民避難先動態調査」なども計画しています。

### ◎「校区防災マップ」の製作

校区内は沿岸部の「要津波対応地域」と松栄山、高城方面の「要降雨土石災害対応地域」に分けられるため、異なる災害に適切に対応できるように、平成30年度校区防災マップを作成し、東大分校区の全世帯に配付しました。



# 桃園校区公民館

## 校区活動の紹介

桃園校区公民館の子ども対象の教室を紹介します。

### 学びの広場

学びの広場を始めて今年度で5年目になります。今年度は12名の小学生が参加し、郷土史やものづくり、料理教室などの学習をしています。7月には埋蔵文化財センターで土器づくりに挑戦しました。土器づくりは初めての人ばかりでしたが、参加者全員時間内に土器を完成させることができました。



### 赤ちゃん教室

生後3ヶ月から1歳未満の赤ちゃんを対象にしている教室です。毎月第2金曜日に実施し、堤洋子さんを中心に赤ちゃんをのびのびと遊ばせながら、育児について大分市保健所の指導員さんを招いての講話や子育て中の悩みなどの情報交換をしています。



### 空手教室

毎週月曜日の午後6時30分から藤本先生の指導で小中学生を中心に30人が元気な掛け声を響かせながら練習しています。藤本先生の指導方針は「空手道を通して健全な心と体を養うこと」だそうです。



### 茶道教室

茶道教室は毎月第1・2・3水曜日の3時から実施しています。指導者の藤本先生は茶道の基本や礼儀作法など多くのことを子どもたちに教えており、子どもたちは茶道教室の日を楽しみにしているようです。学習の成果を城東春まつりや公民館祭りで披露しています。



# 日岡中央公民館

## 結成12年!! 優良社会福祉団体で表彰



日岡子育てサロン「あのね♥」の教室風景を紹介します。

10月27日(木)は、大分東部公民館の上野館長を講師にお迎えして「バルーン・アート」の制作。

開始1時間前には、日岡中央公民館研修室で、スタッフの2人は会場づくりの準備に余念がない。やがて開始時には講師・幼児をつれた母親・他のスタッフも勢揃いする。今日の参加者は、母親5人・幼児6人の皆さん。開講式の後、早速作業開始。

上野館長の指導の下に犬・刀・花と、次々にカラフルな作品ができ上がっていく。熱心に風船づくりに励むお母さん、一方で、幼児はちょっと難しかったのか、「お母さんといっしょ」ならず、玩具と遊んだり跳び回ったりで忙しい。その間、調理室では3人のスタッフが、おやつ作りに奮闘中。

教室終了後、おやつのお土産を手に引き上げていくお母さん達の表情は明るい。感想を聞くと「大変楽しかった」「いつも手作りのおみやげを頂いてあたたかみを感じる」等々の言葉が返って来ました。この後、スタッフの皆さんは後片付け・反省会と続く。

「あのね♥」は、2011(平成23)年に主任児童委員であった藤澤美代子さんの呼びかけで結成されたサロンで、卯年生まれからウサギをシンボルにしている。「口は命の入口、心の出口」をモットーにした地道な活動が認められ、この度大分市社会福祉大会(11月17日)において表彰される事になりました。現在の課題は、新型コロナウィルス感染症の影響で、おやつを食べながらお母さん達と談笑出来ないことがあります。



## 大分東部公民館主催講座のお知らせ

### ★多世代交流 いきいき子どもフェスタ2022★ 10月16日(日)開催

新型コロナウィルス感染症拡大により中止されていましたが、従来の形を変え3年ぶりに開催され、3世代が集まり、楽しいひと時を過ごされました。晴天に恵まれ、参加者はグループに分かれ、感染対策として3ヶ所を30分ずつ区切って体験し、「他の家族との交流も出来て、とても楽しかった」と満足されていました。



#### うみたまご・タッチプール

##### 感想

・魚や生き物の名前を教えてもらい、直に触れたので楽かったです。



#### パネルシアター

##### 感想

・暗い所が苦手な子どもも楽しめました。  
・初めてで面白かったです。



#### 親子体操

##### 感想

・たくさん笑顔が見られました。  
・普段使わない筋肉を使い、汗をかいてスッキリしました。

### 後期講座 始まりました!

くんせい器から手作りし、添加物のない本物のベーコンを作る『日常をけむにまこう』をはじめ、11講座が10月～3月まで行われます。参加者の皆さんは意欲的で、「楽しい時間が過ごせた」「次回が待ち遠しい」とおしゃって、笑顔でお帰りになる姿が職員の励みになっています。

『初めてのヒップホップ～大人向け』男女問わず募集中です。興味のある方は大分東部公民館にお問い合わせください。